

令和7年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	第16回北陸道路舗装会議	事業経緯	継 続	実施体制	実行委員会	担当所属	技術調査室
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業			事業区分	技術開発、研究開発

1. 事業目的

本事業は、積雪寒冷地である北陸地方における舗装技術の発展と意識の高揚を図り、舗装に関する諸問題に対し、産学官が連携して技術を研鑽し、国土の安全・安心に寄与することを目的とする。

2. 事業実施体制

主 催：北陸道路舗装会議実行委員会

＜構成10機関＞

国土交通省北陸地方整備局、新潟県土木部、富山県土木部、石川県土木部、新潟市土木部、東日本高速道路(株)新潟支社、中日本高速道路(株)金沢支社、(一社)北陸地域づくり協会、(一財)新潟県建設技術センター、(一社)日本道路建設業協会北陸支部

3. 事業実施概要

日 時：令和7年6月2日(月)～6月3日(火)

場 所：ANAクラウンプラザホテル新潟(新潟市)

プログラム：

- ・記念講演「舗装の技術革新は積雪寒冷地から」
講師：亀山 修一(北海道科学大学 工学部 教授)
- ・報文発表(分科会)
4会場で、9課題74編の発表
- ・ポスターセッション
15編の発表、聴講者との討議
- ・パネルディスカッション
「道路舗装技術の未来に向けて～魅力ある北陸の地域づくり～」
コーディネーター：大川 秀雄(新潟工科大学 前学長)
パネリスト：北陸地方整備局、コマツカスタマーサポート(株)、東亜道路工業(株)、日本道路建設業協会 計4名

参加者：のべ約730名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

昭和54年からほぼ3年に1回開催してきており、今回で16回目。

報文発表では「舗装の長寿命化」「路面の凍結・積雪対策」等のテーマで課題が報告され、討議セッションでは「i-Construction」「環境改善、景観保全、安全」という今日的な技術課題について熱心な討議がなされた。

パネルディスカッションでは「能登半島地震における取り組み」「働き方改革」「人材育成」「生産性向上」など現在の社会情勢を踏まえた取り組みが紹介され、DX技術など新たな時代へ対応していくための意見交換が展開された。

将来の担い手となる土木系高校生の参加もあり、ポスターセッションでの舗装技術に関する最新情報の提供を含め、現在並びに将来の技術者にとって大変有意義な事業となった。



記念講演



報文発表 ↑
パネルディスカッション →



ポスターセッション

